

失敗を恐れず失敗から学び やらなきゃ何も始まらない

平成28年が穏やかにスタートしました。
当センターは「安心・安全な医療を目指して」をモットーに、医療現場に携わる皆さま及び、これから医療現場へと羽ばたいていく学生さんを対象にシミュレーション教育の提供をしております。
シミュレーションの醍醐味、「失敗が許される」。
臨床で失敗を起こさないために、しっかりとトレーニングすることが必須となります。シミュレーションは試験ではありません。失敗しないための第一歩です。まずはスタートラインに立ち、何度も失敗しゴールテープを切りましょう。そして、またそこで安心せず、再びスタートラインに戻り自己研鑽することが大切です。
不安や悩みがあれば、とりあえずやってみましょう。私たちは皆さまを全力でサポートいたします。

今さらですが...

Gロゴに秘められた願い

米子の象徴である中海と大山の色、「青」と「緑」で構成。「大きい」「すごい」などの意味を持つ、鳥取県中西部地方の方言である「がいな」の頭文字「G」を合わせ、無限大の記号にしたもの。
個人の力は無限に伸び、個人と個人が集まれば更に大きな力となる。
「がいな医療従事者に」と願いを込め作成。

近況報告



27年10月から、医学科4年次の授業「臨床実習入門」では、基本的臨床手技として、術前手洗い、ガウンテクニック、縫合のトレーニングを行っています。本実習は、診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)に必要な臨床技能を習得するためのとても重要な実習であるため、皆さん真剣な表情で取り組まれています。



27年10月に、検査技術科学専攻の採血実習が行われ、シミュレータを使用し採血、スピッツへ分注するところまで行いました。



27年11月には、鳥取県立八頭高等学校体験実習が行われました。実際のシリンジで採血の練習をしたり、聴診器を使用し呼吸音を聞いたりと様々な体験をしていただきました。



シミュレーションセンターでは、27年9月～12月にかけてフィジカルトレーニングセミナー(呼吸器系)、メディカルトレーニングセミナー(導尿、採血、留置針、AED)を開催しました。あえて少人数制のセミナーとし、確実な技術を身につけることができるよう努めました。今後も積極的な参加をお待ちしています。